No.41

# 企業景況調査報告書

（平成27年4～6月期）

＜ 目 次 ＞


調査の概要・結果概要 ・・・・・・・・ 1

質問２（直面している経営上の問題点） ・・・・・・・・ 2

質問３（意見等自由記載欄） ・・・・・・・・ 3

DI 集計結果・分布 ・・・・・ 4～6

調査票様式 ・・・・・・・・ 7



**倉吉商工会議所**

倉吉市明治町 1037－11

ＴＥＬ0858-22-2191

ＦＡＸ0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成27年4～6月)

**調査対象企業**　倉吉市内の商工会議所会員企業　100 社
(建設業 22 社、製造業 20 社、卸売業 11 社、小売業 21 社、サービス業 18 社、その他 8 社)

**調 査 方 法**　各事業所宛てに FAX にて調査票を送付し、FAX にて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

**調 査 時 期**　平成 27 年7月中旬～平成 27 年7月下旬

**回 収 状 況**　83 社(回収率 83%)　※前回(1～3 月)49 社

＜今期の状況＞

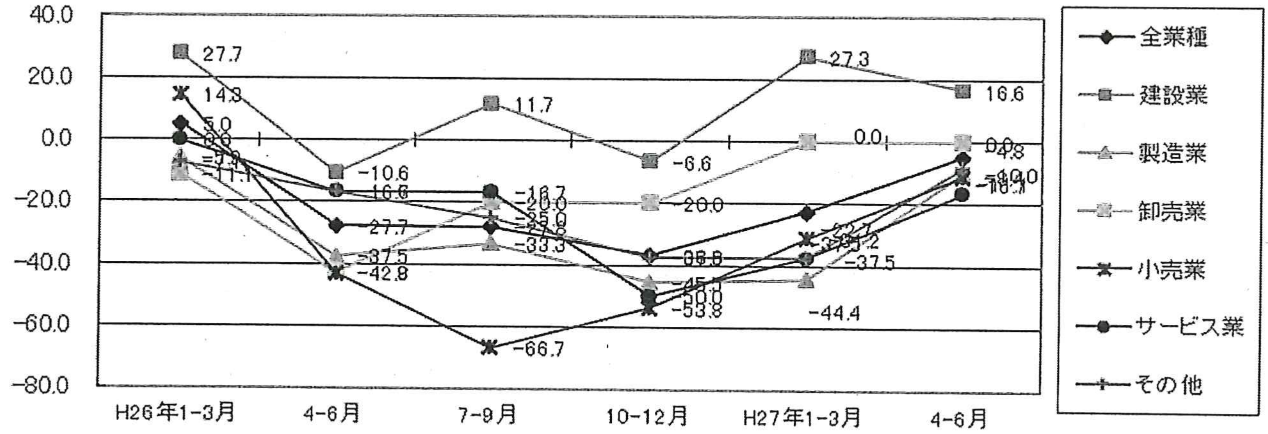
今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の▲22.7 ポイントから 17.9 ポイント上昇し、▲4.8 ポイントとなった。業種別に見ると、建設業は 27.3 ポイントから 10.7 ポイント下降し 16.6 ポイント、製造業は▲44.4 ポイントから 34.4 ポイント上昇し▲10.0 ポイント、小売業は▲31.2 ポイントから 20.1 ポイント上昇し▲11.1 ポイント、サービス業は▲37.5 ポイントから 20.8 ポイント上昇し▲16.7 ポイント、その他は▲37.5 ポイントから 29.1 ポイント上昇し▲8.4 ポイントとなった。また、卸売業は前期、今期ともに 0.0 ポイントで横ばい状況であった。

＜来期の見通し＞

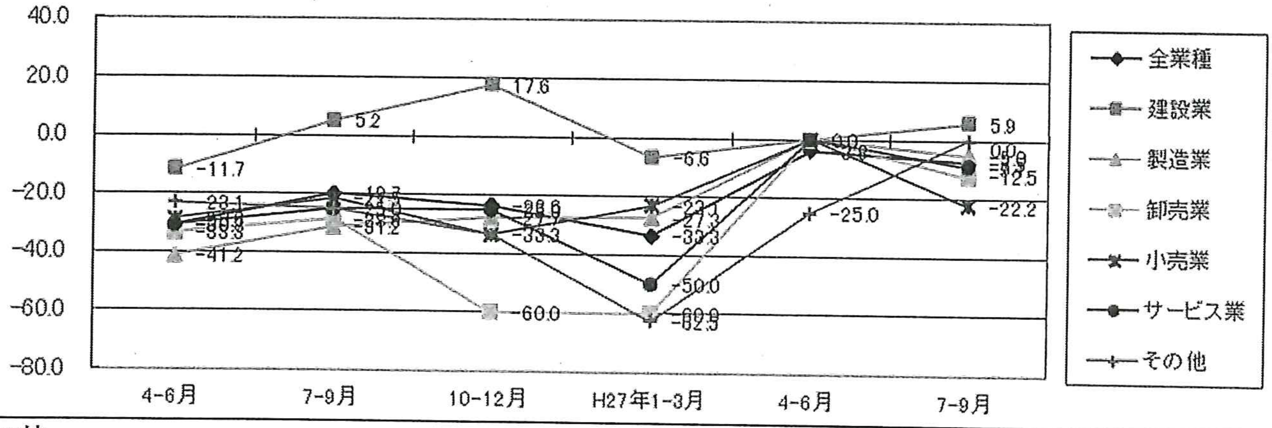
来期の見通し(7～9 月)では、全業種の業況 DI は▲7.5 ポイントと、前期予測(▲3.8 ポイント)から下降傾向の見通しとなった。業種別に見ると、建設業では 5.9 ポイント(前期予測 0.0 ポイント)、その他では 0.0 ポイント(前期予測▲25.0 ポイント)と上昇する見通しとなったものの、製造業では▲5.0 ポイント(前期予測 0.0 ポイント)、卸売業では▲12.5 ポイント(前期予測 0.0 ポイント)、小売業では▲22.2 ポイント(前期予測 0.0 ポイント)、サービス業では▲9.1 ポイント(前期予測 0.0 ポイント)下降する見通しとなった。

＜業況判断ＤＩの推移＞　※今期の DI 値集計結果については P4 をご参照下さい。

(1)今期の状況　＜業種別＞




(2)来期の見通し＜業種別＞




**※DI値**

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。　DI＝(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

質問2　直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

01 競争激化　02 消費・需要の停滞　03 売上・受注減少　04 売上・受注単価低下
05 原材料・仕入価格上昇　06 原材料・在庫不足　07 原材料・在庫過剰
08 店舗・生産設備不足・老朽化　09 店舗・生産設備過剰　10 経費の増加　11 人手不足
12 人手過剰　13 利益率低下　14 代金回収難　15 資金繰り難　16 新分野進出
17 その他:具体的に(　　　　　　　　　　)

〔上位項目〕

※(　)内は件数

| 分類 | | 1 位 | 2 位 | 3 位 |
|---|---|---|---|---|
| 全業種 | 当 期 | 競争激化 (35) | 消費・需要の停滞(32)<br>売上・受注減少(32) | 利益率低下(31) |
| | 前 期 | 売上・受注減少(21) | 原材料・仕入価格上昇(19) | 競争激化(17) |
| 建設業 | 当 期 | 競争激化(8)<br>経費の増加(8)<br>利益率低下(8) | 売上・受注減少(6) | 原材料・仕入価格上昇(5)<br>人手不足(5) |
| | 前期 | 競争激化(7)<br>原材料・仕入価格上昇(7) | 売上・受注減少(4)<br>経費の増加(4) | 利益率低下(3) |
| 製造業 | 当 期 | 売上・受注減少(9) | 原材料・仕入価格上昇(8) | 消費・需要の停滞(7) |
| | 前 期 | 消費・需要の停滞(6) | 売上・受注減少(5) | 原材料・仕入価格上昇(4) |
| 卸売業 | 当 期 | 競争激化(6) | 売上・受注減少(5) | 原材料・仕入価格上昇(4) |
| | 前 期 | 原材料・仕入価格上昇(2) | 競争激化(2)　消費需要の停滞(2)<br>売上・受注減少(2)　経費の増加(2)　利益率低下(2) | |
| 小売業 | 当 期 | 消費・需要の停滞(11) | 競争激化(9) | 売上・受注減少(5)<br>店舗・生産設備不足・老朽化(5)<br>利益率低下(5) |
| | 前 期 | 消費・需要の停滞(6)<br>売上・受注減少(6) | 原材料・仕入価格上昇(4) | 競争激化(3)<br>売上・受注単価低下(3) |
| サービス業 | 当 期 | 消費・需要の停滞(7) | 競争激化(5)<br>利益率低下(5) | 売上・受注減少(3)<br>原材料・仕入価格上昇(3)<br>店舗・生産設備不足・老朽化(3) |
| | 前 期 | 売上・受注減少(4)<br>利益率低下(4) | 競争激化(3) | 消費・需要の停滞(2)<br>売上・受注単価低下(2)<br>原材料・仕入価格上昇(2) |
| その他 | 当 期 | 売上・受注減少(4)<br>利益率低下(4) | 消費・需要の停滞(2)、経費の増加(2)、新分野進出(2) | |
| | 前 期 | 利益率低下(3) | 新分野進出(2) | |

17.その他の課題
※消費税増税(製造業)
※文化・習慣の変化(小売業)
※若年労働者の不足、若手の育成(サービス業)

質問３　現在の景況感、企業経営上の問題点等について（要望・意見等自由記入）

【建設業】

・10%増税後の対策案を考えている最中である。広報活動を展開しなければならない。
・現場作業員（電気技術者）の不足が問題。受注している工事に関わる作業員の補充に頭を痛めている。

【製造業】

・今回の４～6 月分についてはほぼ前年比 100%であったが、年間を通してのものは売上高が減少しているので、大変きびしい時期である。県産製品を愛用する地産地消により景気が良くなることを期待している。
・昨年の消費税増税後よりは回復が見込まれるが、原材料等の値上げが引き続き、業況が好転したとは言い切れない不安がある。
・景気回復は実感できず、むしろ停滞している。消費税増税による予定納税額も上昇し、必要資金も増えて苦しい。マスコミは景気回復、賃金上昇を取り上げるため、賃金も上げねばならず経費ばかり増える。
・技術の進歩、機械化が消費需要を凌駕しているので、新分野での新需要商品を作り喚起する必要がある。待つから攻める企業へ。

【卸売業】

・これだけ店が多くなると、価格の競争によるパイの奪い合いで値崩れを起こしてきている。利益率低下で大変である。
・非常に景気が悪い。未だ底が見えない。

【小売業】

・経営革新計画、街ゼミなどに取り組むことで、社内を活性化中である。
・老朽化に伴い改装セールの企画で売上回復した。新店舗（改装）による販売充実策を計っていく計画中。行政と会議所との一体感で地域の盛り上げをしていきたい。
・産休等で４人いるスタッフ（自分自身含む）のうち２人が戦列から離れ、この夏から新体制でスタートするにあたり、色々な事の見直しが当面の課題。これを機会に事業の見直しを図りたい。
・昔より来客数が減っている。お客様の開拓のため、PR していかなければと思っている。
・売上高は前年に比べて上がっている。それにつれて利益も上がらないといけないが、仕入れ価格上昇により利益率が伴っていない。
・倉吉プレミアム付商品券のおかげで売上が上がり、感謝している。
・廉価指向は地方の所得状況においては仕方のないこと。妥当な価格と思われても高値と判断されやすい。それが店のイメージとなり、客離れにつながっているように思える。お金の使い道、価値観を見誤ると消費者に置き去りにされるように感じる。

【サービス業】

・為替で円が安くなった事により、材料費が高騰している為、利益が薄くなってきた。円がもう少し強くなってほしい。
・不況が長く続いたので、社員を採用できず高齢化してきてしまった。現在では、好不況に関わらず、技術の継承を目的に若い人を採用し育てる必要が出てきた。従って将来の見通しは良好とは思わないが、採用せざるを得ない所まで来てしまったように思う。
・人通りが少なくなっていると感じている。

【その他の業種】

・消費の停滞。

Ｄ Ｉ 集 計( 前年同期比＝H26年4～6月期、来期の見通し＝H27年7～9月)

【製造業・非製造業別】

| | 1. 売上高 | | 2. 売上単価 | | 3. 資金繰り | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し |
| 全業種 | -15.7 | -17.7 | -8.4 | -9.9 | -11.0 | -12.6 |
| 製造業 | -10.0 | -5.2 | -5.0 | -10.0 | -20.0 | -20.0 |
| 非製造業 | -17.5 | -21.7 | -9.5 | -9.9 | -8.0 | -10.1 |

| | 4. 借入難度 | | 5. 収益状況 | | 6. 雇用人員 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し |
| 全業種 | -6.1 | -5.1 | 10.1 | 5.3 | -11.0 | -12.7 |
| 製造業 | -15.0 | -15.0 | 5.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 |
| 非製造業 | -3.2 | -1.7 | 11.8 | 5.4 | -14.6 | -16.9 |

| | 7. 業況判断 | |
|---|---|---|
| | 前年同期比 | 来期の見通し |
| 全業種 | -4.8 | -7.5 |
| 製造業 | -10.0 | -5.0 |
| 非製造業 | -3.2 | -8.3 |

【業種別】

| | 1. 売上高 | | 2. 売上単価 | | 3. 資金繰り | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し |
| 全業種 | -15.7 | -17.7 | -8.4 | -9.9 | -11.0 | -12.6 |
| 建設業 | 11.1 | 0.0 | 5.5 | 11.8 | 0.0 | 0.0 |
| 製造業 | -10.0 | -5.2 | -5.0 | -10.0 | -20.0 | -20.0 |
| 卸売業 | -44.5 | -55.6 | -22.3 | -22.2 | -11.1 | -22.2 |
| 小売業 | -27.8 | -33.3 | -16.7 | -16.6 | -11.1 | -27.7 |
| サービス業 | -16.7 | -30.0 | -16.7 | -27.3 | -16.7 | 0.0 |
| その他 | -33.3 | 16.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.6 |
| 非製造業 | -17.5 | -21.7 | -9.5 | -9.9 | -8.0 | -10.1 |

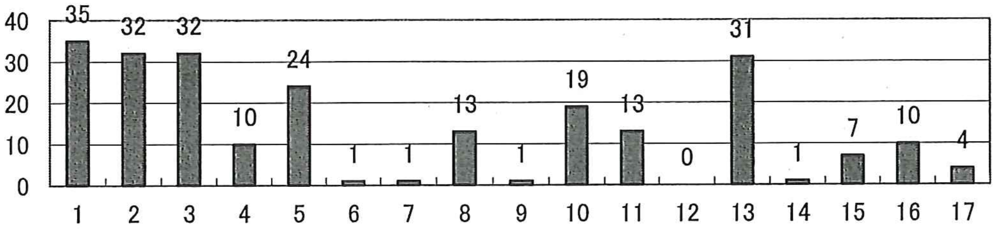
| | 4. 借入難度 | | 5. 収益状況 | | 6. 雇用人員 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し | 前年同期比 | 来期の見通し |
| 全業種 | -6.1 | -5.1 | 10.1 | 5.3 | -11.0 | -12.7 |
| 建設業 | 22.2 | 11.7 | 29.4 | 31.2 | -16.7 | -17.6 |
| 製造業 | -15.0 | -15.0 | 5.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 |
| 卸売業 | -22.2 | -22.2 | 12.5 | 0.0 | 11.1 | 12.5 |
| 小売業 | -5.8 | 0.0 | -5.9 | -6.3 | -16.6 | -16.6 |
| サービス業 | -16.7 | -18.2 | 8.4 | -18.2 | -25.0 | -27.3 |
| その他 | -16.6 | 16.6 | 16.7 | 16.6 | -8.3 | -18.2 |
| 非製造業 | -3.2 | -1.7 | 11.8 | 5.4 | -14.6 | -16.9 |

| | 7. 業況判断 | |
|---|---|---|
| | 前年同期比 | 来期の見通し |
| 全業種 | -4.8 | -7.5 |
| 建設業 | 16.6 | 5.9 |
| 製造業 | -10.0 | -5.0 |
| 卸売業 | 0.0 | -12.5 |
| 小売業 | -11.1 | -22.2 |
| サービス業 | -16.7 | -9.1 |
| その他 | -8.4 | 0.0 |
| 非製造業 | -3.2 | -8.3 |

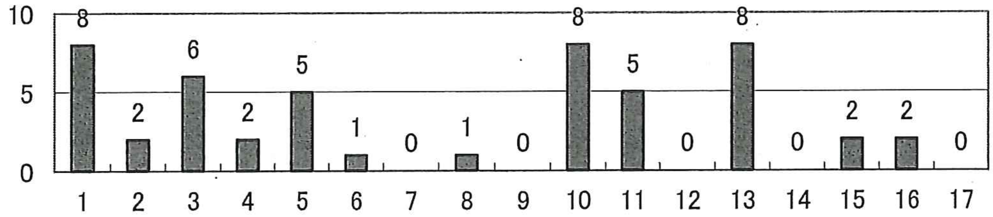
質問２　　　今期直面している経営上の問題点

1 競争激化
2 消費・需要の停滞
3 売上・受注減少
4 売上・受注単価低下
5 原材料・仕入価格上昇
6 原材料・在庫不足
7 原材料・在庫過剰
8 店舗・生産設備不足・老朽化
9 店舗・生産設備過剰
10 経費の増加
11 人手不足
12 人手過剰
13 利益率低下
14 代金回収難
15 資金繰り難
16 新分野進出
17 その他

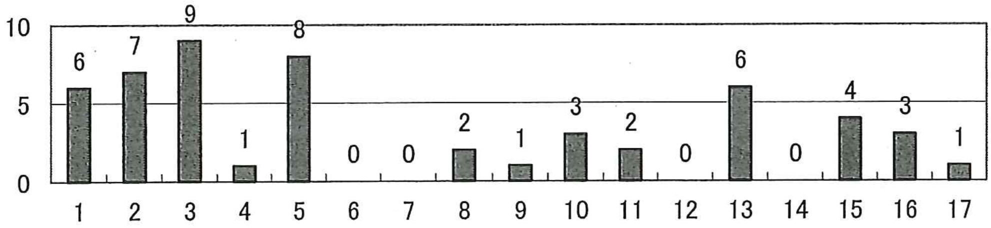
全業種（複数回答）



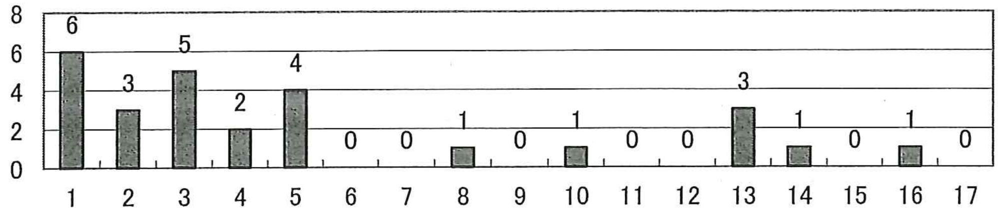

建設業（複数回答）



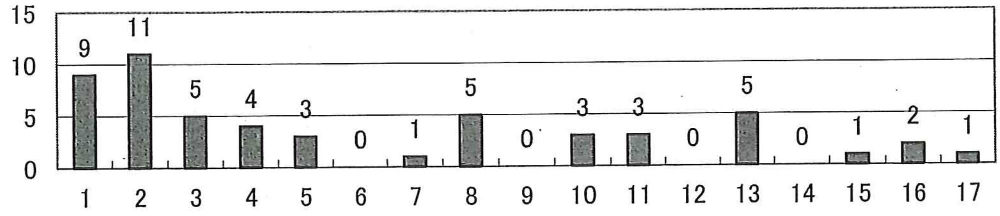

製造業（複数回答）



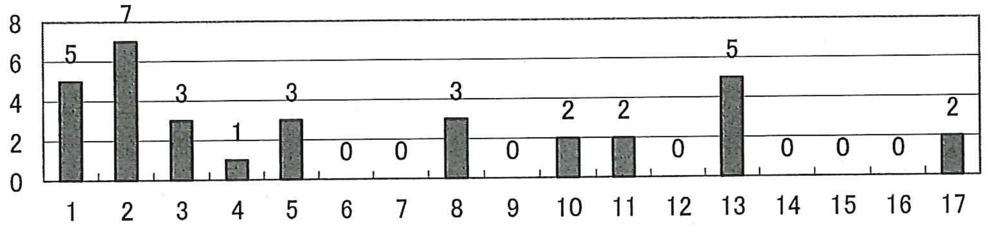

卸売業（複数回答）



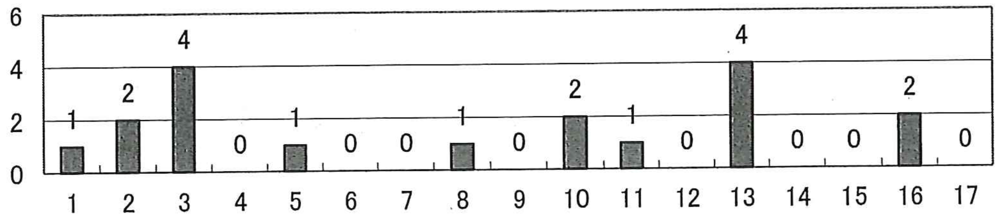
小売業(複数回答)




サービス業(複数回答)




その他(複数回答)



㊙

# 倉吉商工会議所企業景況調査票(平成27年4～6月期)

調査元：倉吉商工会議所　TEL:22－2191
FAX:22－2193

【質問１】前年同期と比較した今期(平成27年4～6月)の状況と、今期と比較した来期(平成27年7～9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| １）売 上 高 | (前年同期比) | １．増　加 | ２．不　変 | ３．減　少 |
| | (来期の見通し) | １．増　加 | ２．不　変 | ３．減　少 |
| ２）売上単価 | (前年同期比) | １．上　昇 | ２．不　変 | ３．低　下 |
| | (来期の見通し) | １．上　昇 | ２．不　変 | ３．低　下 |
| ３）収益状況 | (前年同期比) | １．好　転 | ２．不　変 | ３．悪　化 |
| | (来期の見通し) | １．好　転 | ２．不　変 | ３．悪　化 |
| ４）資金繰り | (前年同期比) | １．好　転 | ２．不　変 | ３．悪　化 |
| | (来期の見通し) | １．好　転 | ２．不　変 | ３．悪　化 |
| ５）借入難度 | (前年同期比) | １．容　易 | ２．不　変 | ３．困　難 |
| | (来期の見通し) | １．容　易 | ２．不　変 | ３．困　難 |
| ６）雇用人員 | 現在の従業員数　　人(うち正規雇用者　　人) | | | |
| | (前年同期比) | １．過　剰 | ２．不　変 | ３．不　足 |
| | (来期の見通し) | １．過　剰 | ２．不　変 | ３．不　足 |
| ７）貴社の業況 | (前年同期比) | １．好　転 | ２．不　変 | ３．悪　化 |
| | (来期の見通し) | １．好　転 | ２．不　変 | ３．悪　化 |

【質問２】今期、直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

|  |  |
|---|---|
| ０１　競争激化 | １０　経費の増加 |
| ０２　消費・需要の停滞 | １１　人手不足 |
| ０３　売上・受注減少 | １２　人手過剰 |
| ０４　売上・受注単価低下 | １３　利益率低下 |
| ０５　原材料・仕入価格上昇 | １４　代金回収難 |
| ０６　原材料・在庫不足 | １５　資金繰り難 |
| ０７　原材料・在庫過剰 | １６　新分野進出 |
| ０８　店舗・生産設備不足・老朽化 | １７　その他：具体的に |
| ０９　店舗・生産設備過剰 | (　　　　　) |

回答欄

1位＿＿＿＿

2位＿＿＿＿

3位＿＿＿＿

【質問３】現在の景況感、企業経営上の問題点等、その他ご意見等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。